

# さわやか通信

2002年  
9月発行  
第3号  
さわやか  
さわ路

## 就任の「挨拶」

運営委員長 小栗 恒穂



朝夕、秋風を感じる頃となりました。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

自立事業センター「さわやか鉚路」の代表である上田弘氏が、5月19日逝去なされ、5月25日の臨時運営委員会で、運営委員長を受ける事になりました。

昭和51年より今まで26年間透析をしながら、北海道難病連理事、鉚路支部長、鉚路地方腎友会会長など又、多くの難病患者会にご尽力下さり、故人に対しては残念でなりません。ご冥福をお祈りします。

私自身、難病連鉚路支部副支部長として「さわやか鉚路」の運営委員として関わらせていただいたおりましたが、登録会員は難病とは感じさせないくらい明るく、元気に通所しております。

未熟な私ですが、少しでも皆さんの役に立てるよう、頑張りたいと思います。

皆様のご指導と、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## お仕事インタビュー

今回は「ピーぷる」で派遣の仕事をしている岩井さんにお話を伺いました。

岩井 玲奈

私は昨年5月から「ピーぷる」と言う知的障害者の作業所で、お手伝いをさせて頂いています。

「ピーぷる」は15歳以上の在宅の

障害者が、楽しく働きながら地域の人達と協力しあい共に歩んでいける生活の場を広げていくことを目的として、平成12年の4月に設置されました。現在5名の障害者が通所しており、彼らのおもな作業内容は、肥料のバッグのパーツ、資源ゴミ袋の製作の過程における軽作業やウエス製作作業です。最近では、交流プラザさいわいの調理室に工場を置き、パウンドケーキを製作してイベントで販売しています。

初めて「ピーぷる」に行った時、正直なところ、お手伝いが出るかどうか戸惑い、しばらくの間は「ピーぷる」に行きながらも悩んでいました。通所して来ている障害者達の言動をなかなか理解することが出来なかつたからです。でもある時突然思いました。『無理して理解するのはやめよう。普通に接して行こう。』と。すると何故か気持ち楽になり、彼らの言動や思っている事が段々と分るようになったのです。

「ピーぷる」に行くようになって気付いた事があります。私自身、難病を持っていて「健常者とは差別されたくない」と思っていました。それなのに私は、自分と彼らを心のどこかで比較していたような気がします。自分がされたくない事を彼らにしていたのではないかと。と思いました。

私は彼らの笑顔が大好きです。彼らは私のように作り笑いが出来ないから、いつも心から笑っていて嘘をつかないからです。

今は彼らの成長を一日一日、目で追って行くのが楽しみです。これからも「ピーぷる」で彼らのように私も成長して行きたいと思っています。



ピープルでお仕事に励む岩井さん

## 初めまして！新人です

佐藤直美

私は今年の2月末からさわやか鉦路でお世話になってます。それまでは多発性硬化症で入院をしていて、退院してから3日目からお仕事をさせてもらっています。

正直なところ、「こんな私でも仕事をさせてもらえるだろうか」と不安がありました。けれど、さわやか鉦路の皆さんは暖かく私を受け入れて下さり、今ではこの仕事をさせていただけの事が、何よりの生活の張り合いになっています。

現在は週に2日、午前中は腎友会の事務を、午後からはさわやか鉦路でパソコンの入力などの仕事をしています。

働く事は本当に楽しいなと感じます。周りには心強い仲間達もいるし、自分が少しでも何かのお役に立てるとい事が嬉しくてしようがありません。これからも少しでも早く仕事を覚えて、精一杯楽しく働いていきたいと思えます。皆さんどうぞよろしくお願ひします。頑張るぞ！

## さわやか風景…職員より

吉江 弘

8月中旬から、さわやか鉦路さんでお世話になる事になりました。みなさん、よろしくお願ひします。

私の病名は、脊髄小脳変性症です。この病気は、歩行障害、言葉の障害など運動機能が低下していく病いです。あと私の場合この病気では珍しい、初めて診ると言われている開眼の障害があります。視力は、軽く乱視が入っています。が、まぶたが開いている時は割と普通に見えています。(と思っている。)それとこれは、この病気によく見られる病状なのですが、よく咳き込みます。時々、大丈夫か？と言うほど咳き込みますが、多分大丈夫だと思えます。

仕事の方は、パソコン等をやりたいです。年末になれば、年賀状の作成など色々出来るようになります。私にはよく人から「マイペース」だとか「とろい」と言われます。見ていて腹が立つ人もいると思えますが、大目に見て下さい。

夏らしい気温にならないまま、秋を迎えるのかと思っていました。が、9月の今頃になって、思い出したかのように夏の日差しが戻ってきました。

難病連の全道集会鉦路大会も終わり、『さわやか鉦路』も一息ついているところです。今年の『さわやか鉦路』は、代表を務めていた故 上田 弘氏が逝去されるという大きな出来事がありました。

上田氏の訃報は、『さわやか鉦路』ばかりではなく、鉦路地方腎友会、難病連鉦路支部にも大きな損失となりました。

私自身も、営林署を退職された上田氏にパソコンのデータ処理など、いろいろとご教授していただけたと思っていた矢先の出来事でした。ここに、あらためて故人のご冥福をお祈りいたします。

今年、2月に建設会社からパソコンデータ入力の依頼があったり、今月末からテレフォントペーターの依頼があったりと、少しずつではありますが『さわやか鉦路』を理解して仕事を依頼してくれる

企業も出てきました。

所長の営業努力もさることながら、山田弁当さん、藤プリントさん、ピールさんに派遣されている利用会員のいままでの実績によるところも大きいと思います。

来月にはいと早々と「年賀状」・「メ縄」の準備に取りかかることになりました。『さわやか鉦路』で最も忙しい時期です。年賀状の取扱量は、パソコンの普及もあり年々減少傾向にあります。今年こそ昨年を上回るよう、全員で頑張つて取り組んでいきたいと考えています。

(五十嵐 記)



# さわやか釧路 レクリエーション

6月9日(日)、さわやか釧路レクリエーションが釧路町別保公園で行われました。昨年もそうでしたが、今年も天気がずつと悪く、中止になると思いましたが、みんな普段の行いが良いのか、当日は曇っていましたが、これ位なら大丈夫だろうということで、9時半に事務所を出発しました。

参加者は12名で、うち3名は新会員でみんなとの交流の場として良い機会だったと思います。

パークゴルフは昨年と同様、2チームに分け、景品をかけて対戦しました。景品を買いに行った私は、ラッキー賞を狙っていましたが、参加賞しかもらえませんでした。今回の優勝者は小栗さんでした。この次は違うゲームを考えようと思っています。

昼食は焼肉をし、(財)HBC社会福祉振興財団様より寄贈していただいたデジカメで写真をとりました。風が結構強かったのですが、肉や野菜などは真っ黒になりましたが、おなががすいていたので多

少コゲていてもおいしく食べられました。思った以上に肉が多くて、帰りにYさんに持って帰ってもらいました。

午後からは、希望者だけパークゴルフをするということで現地解散にし、私は疲れていたのも、そのまま帰りました。帰る途中から雨が降りだし、ぬれた方もいた様です。ちよつと肌寒い一日でしたが、みんな風邪もひかず、楽しい一日をすごせたと思います。

また1名新会員が増えたので、この次は9月末か10月頃に食事を開こうと思っています。

(上村 記)



みんなでハイポーズ!



神さん高橋さんの息の合ったパークゴルフ

美味しい焼肉♪



## 看護学生 さわやか見学

9月4日(水)の午前10時に、釧路保健所の川村・大武両保健師に引率され、北海道立衛生学院地域看護学科の実習生6名が来所され「小規模障害者施設について」等の研修をされて行きました。

実習生6名は看護師試験に合格し、現在保健師になるための研修を1年間行っているとの事です。

「さわやか釧路」の設立目的、事業主体、運営、事業内容、登録

会員等について説明をしました。

特に「さわやか釧路」の他の作業所とは違う、企業派遣の考え方と実際の稼働方法については、詳しく説明を行いました。

次に併設されている「さわやか通院介護」の組織設立目的、実際のコーディネート(送迎希望者とボランティアとの調整)についての説明をしました。

最後に難病連の組織について、設立の時の状況、現在の活動内容等について説明をさせて頂き、2時間近くの説明会を終了しました。

(佐藤 記)



所長の説明に熱心にメモをとる学生さん達

# 上田 弘氏 訃報

難病連釧路支部長 佐藤信洋  
さわやか釧路所長

「さわやか釧路」の代表（運営委員長）として、平成10年の設立準備、その後の運営に尽力して頂きました上田弘さんが5月19日に逝去されました。

上田さんは昭和51年1月より腎臓病を悪くされ、市立釧路総合病院で人工透析を始められています。当時の医学では半年生きられるかどうかの時代でしたが、本人の自己管理を厳しくした中で、釧路根室管内での人工透析患者の中で男性として一番長い26年の透析歴を保持していました。

人工透析に入られてからは、白糠営林署に勤めながら、患者会活動を生きがいとし、私達、腎臓を初めとして難病患者のために釧路管内で、そして北海道で活躍されました。

ご家庭では奥さん、そして2人のお子さんに恵まれ、長男は医者になり、長女は薬剤師と立派に成長されており、現在は孫にも恵まれて、たいへん充実した日々を送ってこられました。

私達、難病患者より慕われ、尊敬されてきました上田さん、本当にお疲れ様でした。ご冥福をお祈りいたします。

## ◆上田 弘さんの主な活動（享年63歳）

- 昭和51年1月 発病、透析開始。
- 昭和51年11月 釧路地方腎友会設立に関わる。平成3年3月まで副会長、会長を歴任。
- この間、北海道腎臓病患者連絡協議会幹事・運営委員・副会長を務める。
- 昭和51年3月 難病連釧路支部設立準備会世話人として、力を尽くす。
- 平成5年4月 副支部長・支部長を歴任。昭和63年より平成11年3月まで北海道難病連理事の要職。
- 平成10年5月 難病連白糠・音別支部設立に尽力。事務局長に就く。
- 平成10年6月 難病連釧路支部・釧路地方腎友会共同自立事業センター「さわやか釧路」設立準備会世話人代表として尽力。
- 「さわやか釧路」代表。

# 神 利恵子さん テレビ出演!



「さわやか釧路」の登録会員である神利恵子さん（脊髄小脳変性症）が、8月8日（木）NHKで放映されました。難病連本部の方から各支部へFAXをしてもらったので、見た方は何人もいると思いますが、さわやかでの作業風景、全道集会での患者・家族の訴え、水泳で優勝した時の写真などが放映されました。

神さんは設立当初からの会員で今年で5年目になります。通所は週1回と自宅作業でパソコン入力、テープおこしなどを主にしています。

最近、手足の方もだんだんと不自由になってきていて、動くのもちよつとつらそうな時もありますが、みんなで助け合って、一緒に頑張っていきたいと思えます。

## 編集後記

☆今回の「さわやか通信」は、ほとんど直美さんに作ってもらったので助かりました。（上村）  
☆初めての編集作業だったので色々悩みながら作りました。読みづらい所もあるかもしれませんが、ご感想やご意見をいただければ嬉しいです。（佐藤直）

(財) 北海道難病連・釧路地方腎友会共同  
(障害者地域共同作業所)

自立事業センター「さわやか釧路」

〒085-0005 釧路市松浦町9-20  
TEL 0154-25-2012 FAX 0154-25-2042